

## はじめに

21世紀に入り、国際社会は新たな時代を迎えつつあります。

国境を越えた人、モノ、情報、資金の移動の進展により、経済が活性化される一方で、急激な資金の移動による国民経済の混乱や外国人労働者の排斥問題、偏狭なナショナリズムに起因する国民レベルの対立など、様々な問題を引き起こしています。グローバル化がもたらすこのような諸課題を解決するためには、国境を越えた協働と、対話・交流を通じた相互理解の推進を基礎とする新たな公共性を構築する必要があります。ここでは、従来の政府機関や財団・NGOなどの非営利団体のみならず、グローバルに活動を展開する企業や、近年注目を集めている社会起業家・イノベーターが、それぞれのセクターを越えて共同作業を行うことが期待されます。

国際交流基金は、このような基本認識を踏まえ、海外で活動する日系企業との連携を推進するため、2006年6月に企業連携事業推進室を設置し、さらに、2007年1月には企業連携事業推進室を事業開発戦略室に改組し、企業との連携を通じた新たな事業の開発に取り組んでいます。具体的な活動としては、今回の調査を含め、中国日本商会及び日系団体の協力により2回の「中国における日系企業による社会貢献活動」についての調査を実施し、3回にわたり開催した中国の日系団体代表者会議において調査の報告を行い、日系企業間での調査結果に関する情報の共有化に貢献しました。また、中国国内への広報を通じて、中国における日系企業の社会貢献活動への理解の向上にも寄与しています。

このたび、中国日本商会をはじめとする中国各地の日系団体の協力のもと、特定非営利活動法人パブリックリソースセンターに委託して実施した、前述の「中国における日系企業の社会貢献活動の調査」についての報告書をまとめることとなりました。中国は日本の隣国として重要であり、文化・歴史面でも深い交流があります。また、日中両国は、経済面においても緊密な関係が構築され、両国の人的・文化的交流は飛躍的に拡大しましたが、さらに両国の相互理解を進展させていく上で、今回の調査結果が少しでもお役に立てれば幸いです。

最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、多くの個人・団体の方々のご協力を賜りました。残念ながら、全ての方々のお名前をここでご紹介できませんが、調査及び報告会実施にあたり全面的にご協力いただいた、中国日本商会をはじめとする中国各地の日系団体の皆様、中国における企業の社会貢献活動に関する執筆を快諾下さった、王名 清華大学公共管理学院教授（清華大学NGO研究所所長）、周衛東Business for Social Responsibility中国事務所長には特にお世話になりました。本調査にご協力いただいた日中両国の皆様に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2008年1月  
国際交流基金  
事業開発戦略室